

これ、なあに?
道具でのぞく博物館

空気調和機



▲空調機(1機・部分)

こんなに大きいものが
15機もあります!



▲水を循環させる冷温水二次ポンプ

空調機は、温度や湿度を調整する機械です。

資料には、素材によって保存に適した温度や湿度があります。たとえば、漆器や木材は乾燥すると割れやすく、紙は温湿度が急に変わるとしづかやすくなります。また、高温多湿な日本の環境では、虫やカビが発生しやすく、資料に虫くいの跡やシミができるおそれがあります。このような影響から資料を守るために、温湿度を適切に保つことが大切です。

今回の改修工事のひとつが空調機の交換です。資料（文化財）の保存には温湿度管理が欠かせませんが、交換工事の間は空調機が止まります。そのため、館内の空調機を順に交換し、温湿度管理ができる部屋に資料を移動しながら工事を進めます。すべて交換するまで2年ほどかかる見込みです。

資料を守る! 休館中のミッション

資料は温湿度の変化に影響を受けやすいため、移動のときは丁寧に梱包します。仙台市博物館で保管している資料は、約9万8千点。それらの資料を梱包し、適切な保管場所に移動し、見守る作業も休館中の大きな仕事のひとつです。このように資料を大規模に移動することは、現在の建物で開館して以来、はじめてのことです。

古文書を入れた木箱をさらに
移動用の箱に詰めています。



ある日の作業

Event Information

仙台市博物館×若林図書館

パネル展示

「仙台市東部沿岸地域の歴史と記録 -忘れない-」

入場無料

東日本大震災で津波の被害を受けた地域の歴史や現在のようすなどを紹介します。

問 若林図書館 ☎ 022-282-1175 仙台市博物館 ☎ 022-225-3074

ホームページ / ツイッター /



仙台市博物館 イベントの開催など最新の情報をホームページでお知らせしています。

TEL 022-225-3074 8:30~17:15※土・日・祝休日を除く FAX 022-225-2558

※新型コロナウイルスの感染拡大状況等により、イベントが中止等になる場合があります。
※再生紙を使用しています。この印刷物はリサイクルできます。

仙台市博物館

〒980-0862 仙台市青葉区川内26<仙台城三の丸跡>

博物館で使っている道具を通して見えてくる、ふだんは見えない博物館の仕事。今回は設備のかなめ、空気調和機（略して「空調機」）をのぞいてみましょう。



休館中の 仙台市 博物館 だより

HAKUBUTSUKAN DAYORI

春が来ました。
ここは江戸時代、仙台城下の花見の名所・榴ヶ岡（仙台市宮城野区）。
花を見ながら歩く人、酒宴に盛り上がる人々などにぎわっています。現在の榴ヶ岡公園周辺は、4代藩主・伊達綱村が、生母である三沢初子の供養のために駕廻堂を建立し、さらに桜を植えたことで城下の一大行楽地となりました。春のにぎわいは、昔も今も変わらないようです。

表紙の資料
榴ヶ岡花見図屏風
(仙台市指定文化財) より各部分
仙台市博物館蔵

▲桜:雪薄竹に雀紋桜枝散蒔絵書棚より各部分
仙台市博物館蔵
(大きさ:たて151.0cm×よこ318.0cm)

歴史と文化を未来につなぐ
—観る、知る、楽しむ。学んで、考える博物館—

SENDAI CITY MUSEUM

資料をみる目 いろいろ

歴史 × 美術 × 子ども

国指定重要文化財 伊達政宗所用 黒漆五枚胴具足

仙台市博物館の代表的な収蔵品のひとつ「伊達政宗所用 黒漆五枚胴具足」について、歴史的な背景や、ものの成り立ちなどの視点から紹介します。

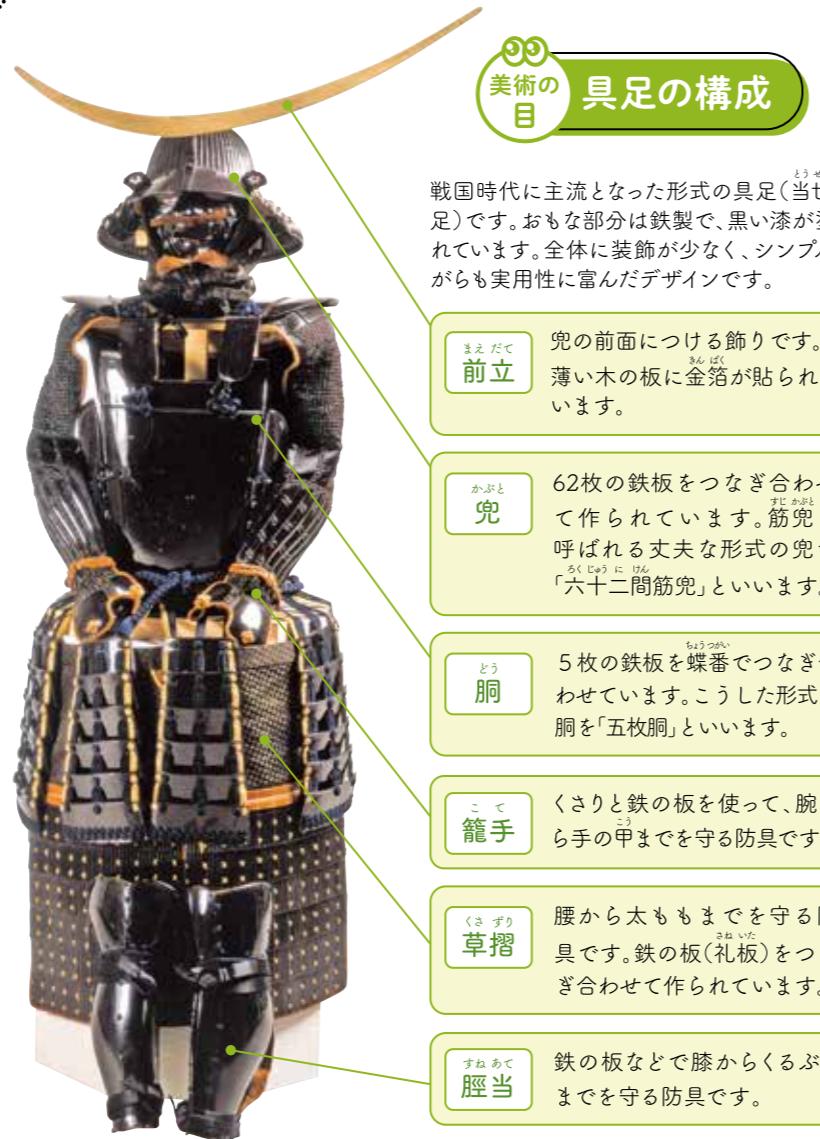
歴史の日 政宗の愛用品

伊達政宗(1567~1636年)が大坂冬の陣・夏の陣(1614・15年)で着用したとする記録があります。

兜には、政宗が生まれるより前、16世紀前半に活躍した鍛冶職人「宗久」の名が刻まれています。また、胴には銘はありませんが、この胴の形式(五枚胴)は、天正年間(1573~1592年)の早い時期までに成立したことが明らかになっています。つまり、この具足は、政宗より少し前の時代の兜と、政宗と同時代の最新式の胴という、異なる時代の兜と胴とが組み合わせられたものです。

ちなみに、これと同じ形の具足が、政宗の墓所である瑞鳳殿から副葬品として発見されています。政宗は70歳で亡くなるまで、同形の具足を用いたようです。

政宗が具足などの道具を選ぶ際、品質はもちろん、自分にとっての使いやすさを重視したと伝える記録も残っています。この具足が政宗にとって品質・使い勝手とも最良のものであったことは間違いないでしょう。



せんだいTubeで配信中！



Q

子どもの目

伊達武将隊と行く！
はっけん！仙台市博物館では、伊達武将隊の政宗様が具足（複製）の着付けに挑戦！
具足の仕組みも見られます。



Q
具足って
なあに？

A 戦いで体を守るために身に着けた「よろい」や「かぶと」のことだよ。具足とは、全部備わっているという意味で、写真のように体をおおっている道具すべてを合わせて具足と言うんだ。

Q
かぶとの月は
なあに？

A 「前立」というかざりで、かぶっている人を示す印でもあったんだ。伊達政宗のかぶとは、この細い弓のような月の前立が有名だよ。ほかの武将では、龍や鬼、虫や植物、文字など、さまざまなデザインがあったんだ。

Q
重さは
どれくらい？

A この具足は全部で約20kg、2ℓの水が入ったペットボトル10本と同じくらいだよ。鉄砲などから身を守るために、おもな部分は丈夫な鉄の板で作られているからこんなに重いんだ。約20kgもの具足を身につけて戦ったなんて、すごいね！



今と同じように、手紙を送った理由を簡単に書くことがあったよ。たとえば、返信の時は「為返札申入候(へんさつとしてもうしいれそうろう)」として、「返信として申し上げます」などと書き出していたんだって。



伊達政宗の父・輝宗の手紙。
愛姫(陽徳院・田村氏)が、政宗の正室として嫁入りする時のことが記されています。

伊達輝宗 書状
(天正7年・1577) 10月21日
仙台市博物館蔵

ミュージアム展示ガイド
ポケット学芸員で
仙台市博物館の資料を紹介しています

ご利用
方法

step 01

ダウンロード

【アプリ】
ポケット学芸員
(Pocket Curator)

公式サイト



ダウンロードは
こちらから

step 02

「仙台市博物館」を検索



キーワードや地域から検索できます。

step 03

資料を表示



「リスト」で資料名をタッチすると、資料の画像や解説が見えます。
「再生」ボタンをタッチすると、音声ガイドが聞こえます。

紹介項目は200件ほどです(令和4年1月現在)。仙台市博物館の資料をお手元で楽しみませんか？